

同窓会だより

卒業生総数：

25,810人

旧 中： 2,571人

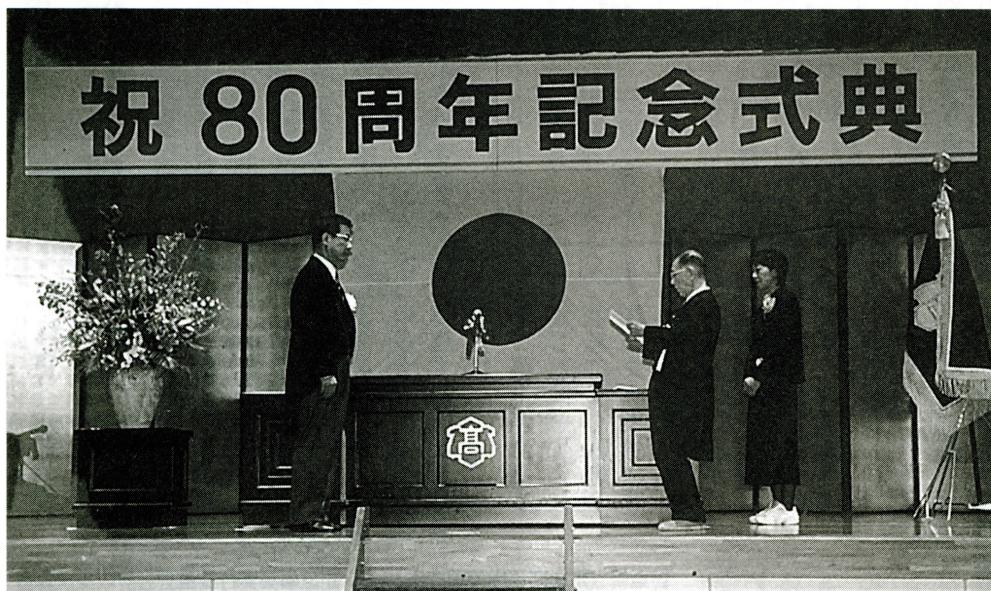
高 女： 2,592人

高 校： 20,647人

編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局

(〒501-0407 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL<058>324-1201)

祝 80周年記念式典



「銀杏館」寄贈 目録贈呈

創立80周年記念式典盛大に挙行 2000年10月14日 於母校体育館

昨秋十月十四日、母校本巣高等学校に於いて創立80周年記念式典が盛大に挙行されました。午前10時から始まつた式典は、県議会議員・関係町村長をはじめ、高等学校並びに中

学校の校長先生等の来賓を招いて、厳肅な琴の音色とともに開催されました。

実行委員長の翠同窓会会长から「多くの方々からの淨財によってできた同窓会館を本巣高校生が切磋琢磨する場として有効に利用し、大きく飛躍してほしい」という式辞が送られました。

学校長もそれを受けて「校訓の『質実剛健』『文武両道』の精神を噛み締め、夢や理想を追い続けてほしい」という挨拶がありました。

その後、本巣高校の発展にご尽力があつた方々に感謝状等が贈られました。感謝状の種別は、財団法人「加藤記念奨学会」に多額の寄付を頂いた加藤さんの特別功労者表彰をはじめとする次の表彰（70周年以降が対象）が行われました。

○功労者《高額寄付者》（四十五名）
○県議会議員等の祝辞の後、生徒代表が、「私たちは先輩方が當々と築いてこられた歴史の重みと、母校に対する愛情と期待をしっかりと受けとめ、日々精進していきたい」という決意を述べました。

その後、校歌斉唱等で式典が終了しましたが、在校生・PTA・同窓会の関係者とも新たな思いを心に期すことができた式典であったと思ひます。

式典終了後は、銀杏館で「写真展“80年の歩み”」や「お茶会」が行われました。



同窓会館「銀杏館」

○功労者《高額寄付者》（四十五名）
○県議会議員等の祝辞の後、生徒代表が、「私たちは先輩方が當々と築いてこられた歴史の重みと、母校に対する愛情と期待をしっかりと受けとめ、日々精進していきたい」という決意を述べました。

その後、校歌斉唱等で式典が終了しましたが、在校生・PTA・同窓会の関係者とも新たな思いを心に期すことができた式典であったと思ひます。

式典終了後は、銀杏館で「写真展“80年の歩み”」や「お茶会」が行われました。

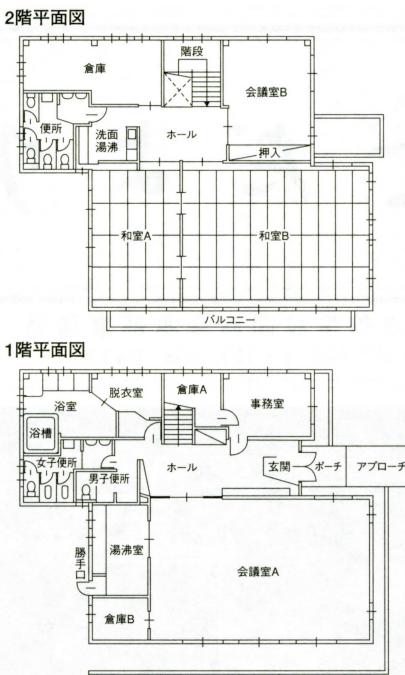
創立80周年記念事業 「銀杏館」(同窓会館)建設行われる

同窓生の長年の夢であった、「銀杏館」(同窓会館)の建設が、創立80周年記念の主事業として行われました。

募金総額九千万円を目標に、同窓会・PTA・職員の三者が一体となり、平成9年10月より一年間にわたり、募金活動が展開されました。

た。しかし、折柄の経済不況の中、思うように集まらず、募金期間が過ぎても目標額の四三%であった。実行委員会では、募金期間を半年延長しましたが、最終的には五七・五%と目標額には達しませんでした。しかし、PTAからの多大な協力もあり、立派な会館を建設することができました。

ご協力いただきまして同窓生・PTAに深く感謝いたします。



平成11年11月9日、四十六名が列席するなかで起工式が行われ、「銀杏館」建設に向けた工事が始まります。

岐阜県立本巣高等学校創立80周年 記念事業実行委員会会計収支決算書

収入金額 112,777,569円
支払金額 105,500,006円
差引金額 7,277,563円

差引金額は学校後援会80周年記念事業基金に繰入

(収入の部)			
科 目	予 算 額	収 入 済 額	差 引 増 減 額
同窓会 寄付金	(80,000,000) 54,780,000	58,164,471	3,384,471
PTA等協賛金	(19,800,000) 33,520,000	32,816,600	-703,400
後援会委託管理費	(10,000,000) 20,900,000	20,900,000	0
雑 収 入	(200,000) 800,000	896,498	96,498
合 計	110,000,000	112,777,569	2,777,569

(支出の部)			
科 目	予 算 額	支 払 済 額	差 引 残 額
事務費	9,500,000	8,163,965	1,336,035
会議費	500,000	406,230	93,770
印刷製本費	(3,000,000) 500,000	354,216	145,784
通信運搬費	(5,000,000) 3,000,000	2,892,495	107,505
委託料	(0) 4,500,000	4,301,849	198,151
旅費	300,000	58,492	241,508
雑費	700,000	150,683	549,317
記念式典費	4,500,000	2,883,449	1,616,551
会場費	170,000	169,050	950
表彰費	150,000	39,900	110,100
記念品費	2,500,000	1,718,340	781,660
食料費	800,000	478,770	321,230
雑費	880,000	477,389	402,611
記念事業費	96,000,000	94,452,592	1,547,408
同窓会館建設費	(80,000,000) 81,305,000	81,300,500	4,500
同窓会館備品費	3,495,000	3,133,822	361,178
記念誌出版費	10,000,000	9,245,657	754,343
記念行事費	(2,500,000) 1,200,000	772,613	427,387
合 計	110,000,000	105,500,006	4,499,994

注: 予算額欄の()書は、当初予算額を表す

創立80周年の記念式典が西暦2000年という記念すべき年に執り行われましたことは、我々関係者にとっては、喜びがひとしおであります。昨年十月十四日に盛大に行われた式典は、将来大きな思い出になり関係者の心に深く刻まれることと推察されます。

創立80周年の記念式典を終えて

同窓会長 翠 正明

本日は、記

創立80周年を記念して多くの事業が行われましたが特に困難をきわめましたのは同窓会館の建設であります。

創立80周年を記念して多くの事業が行われましたが特に困難をきわめましたのは同窓会館の建設であります。

た。翌年6月2日、在校生代表も含めて百名が出席し竣工式が行われました。また、「銀杏館」の周りには「銀杏館記念庭園」として、平成11年度から三年間の卒業記念品として

整備されました。

記念誌「松樹」発行

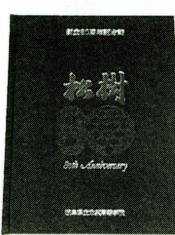
創立80周年記念誌「松

樹」の発行が、記念式典に合わせて行われました。写真や資料を出来るだけ多く取り入れることに心掛け、編集会議を重ねてきました。

80周年記念号として、昨年6月に発行しました。同窓会員全員に異動調査カードを発送し、確認しております。お問い合わせください。

会員名簿発行

ます。連絡ください。頒布代金は4千円です。購入希望の方は、事務局までお申し込みください。



した。しかし、同窓会員の皆様方の心暖まる浄財やその他関係者との協力により立派に竣工し、「銀杏館」

念式典等も無事盛大に終わりましたので、関係者に対し、心からのお礼を申し上げてご挨拶いたします。

は、それまでの

ください。

同窓会だより

卒業二十年

昭和四十五年 井 上 修

創立50周年記念の本館屋上の大時計に見送られ、正門を出てからはや三十年の時が過ぎました。地元で自営業を営んでいたため、母校の前をよく通りますが、入学時の木造校舎が鉄筋コンクリートに、体育館も建て変わり第二グランドもでき、また創立80周年記念事業の銀杏館が新築され、その変貌が頗もしくもあります。

今年の同窓会総会は卒業三十年の当番学年とのことで案内を出させて

もらつたところ、藤井・真鍋両先生をはじめ、遠く茨城・大阪からの出席者を迎える楽しい時を過ごすことができました。本当に三十年ぶりに会う級友もいて総会懇親会会場を出てからもロビーで近況、体調のことな



ご挨拶

校長 新 井 勝

同窓会の皆様には、謹んでご挨拶を申し上げます。

この春、定年退職された森校長先生の後任として、平成十三年度より本校にお世話になることになります。本校は、もとより県下で

創立80周年記念事業も有意義に開催され、多大なご協力による銀杏館も立派に完成しました。

会員の皆様にはご健勝にて心の時代といわれる二十一世紀の幕開けを迎えてお喜び申し上げます。

岐阜支部

支部長 高 橋 武 揚

創立80周年記念事業も有意義に開催され、多大なご協力による銀杏館も立派に完成しました。

名古屋支部

支部長 栗 本 和 幸

今年は、母校の創立80周年記念の輝ける年であり、二十世紀最後の支部総会が六月十一日金山のホテル、

関東支部

支部長 真 道 晃 雲

平成十二年度支部総会は、四月二十三日、東京「アルカディア市ヶ谷

栗野憲彰(S35卒)留任
松村久子(S36卒)留任
谷川秋美(S39卒)新任

支部だより

重複負担を強いるようになつたため発展的解消をすることになりました。支部の皆様、長年のご支援本当にありがとうございました。



三十周年近くにわたり活動をしてきたわが支部は、役員会総会の議を経て解散することになりました。近年本部活動の中心部分が、岐阜市内に及び両者事業が競合するようになり、

三十周年近くにわたり活動をしてきました。席を期待し再会を楽しみに会場を出しました。

関西支部

支部長 所 敏 勝

母校創立80周年記念、関西支部総会を「ザ・リツツ、カールトン大阪」で四月十五日盛大に開催致しました。本部からは、八代副会長、戸田事務局長をお迎えし、会員四十七名の参加をえて総会・懇親会が始められました。

支部長 所 敏勝(S35卒)留任
副支部長 福富芳彦(S31卒)留任
栗野憲彰(S35卒)留任
松村久子(S36卒)留任
谷川秋美(S39卒)新任

三十周年近くにわたり活動をしてきました。席を期待し再会を楽しみに会場を出しました。



伝統に支えられて

箏曲部

二〇〇〇年岐阜総体に出場し、思い切ってプレーするところが、私たちの入学した時からの大きな目標でした。そのため三年間ひたすら練習に励んできました。三月に東京で行われた春の高校バレーに出場し、全国レベルの高さを実感して今回も高校総体にのぞみました。大声援の中、和歌山県代表の信愛女子短大付属高校との試合が始まりました。一セット目は先取しま

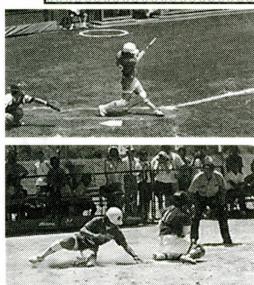
本巣高女時代の創部といふ古い伝統に育てられた箏曲部は、時として部員減の危機に陥ったこともあります。現在は部員数二十一名となり、熱心に活動しています。

本巣高女時代の創部といふ古い伝統に育てられた箏曲部は、時として部員減の危機に陥ったこともあります。現在は部員数二十一名となり、熱心に活動しています。

強く思いました。私たちを支えてくださつて有難うございました。



輝く生徒たち



毎年、地元糸貫町の「げんげ祭り」に参加するのを初めとして、各方面で活動していますが、昨夏の合奏コンクールでは念願の最優秀と岐阜市長賞に輝き、また秋の本校創立80周年記念式典では、セレモニー等長時間のメイン演奏を任されて、先輩に恥ずかしくない演奏をと心一

つに練習を重ね、好評を博しました。今後、さらに高いレベルの演奏をめざして、練習に励みたいと心新たにしています。

私たちソフトボール部は八月一日から行われた二〇〇〇年岐阜総体に出場しました。一回戦、新潟県立長岡商業高校と対戦しました。初戦ということで、自分たちの力を充分だせるか、不安

と緊張で一杯でした。しかし、ピッチャーマルの好投また打線も順調に繋がりました。二回戦も、打線好調で、若山のホームランも飛び出すなど十一対〇の大差で勝利しました。三回戦星野女子高校と対戦しましたが、惜しくも二対〇で惜敗しました。

結果はベスト16位でした。たくさんの応援ありがとうございました。

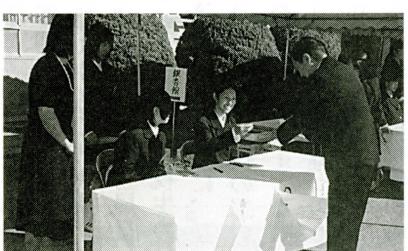
多くの人々に支えられて 女子バレー部

二〇〇〇年岐阜総体に出場し思い切ってプレーするところが、私たちの入学した時からの大きな目標でした。そのため三年間ひたすら練習に励んできました。

本巣高校の先生や多くの生徒の皆さんを始め、OGの方々に応援いただき、心

という年月は、ただ“長い”としか感じていませんでした。しかし、準備の段階で多數の来客がみえると知り大変なことだと感じ戸惑いました。当日、受付の練習をすることができず、一緒にする仲間と緊張していました。

緊張と感激 受付係



総会報告

平成十二年度本部総会が、八月二日(土)午前十一時から、「長良川ホテル」において百三十余名の出席者を得て盛大に開催されました。

総会は、翠同窓会長・森学校長による挨拶に始まり、続いて白木議長のもとで、左記の提出議案が原案通り全会一致で承認されました。

- 一、平成十一年度事業・決算報告
- 二、役員について
- 三、会計監査報告
- 四、平成十二年度事業・予算案
- 五、創立八十周年記念事業報告
- 六、総会後の懇親会は、昭和四十五年卒業の同窓生を中心に、華やいだ雰囲気の内に進められ、会話も進み、あつという間の二時間でした。

夢のインターハイ ソフトボール部

ソフトボール部

会長	翠正明	副会長	大野君子	名知和男	菅原智子
監事	伏屋美代子	監事	若原忠義	村木茂雄	村木茂雄
常任理事	森義雄	常任理事	大西美代子	浅井真澄	浅井真澄
	春日井昭夫		林久直	山田美代子	山田美代子
	古田弘		杉山恵津子	安田泰章	安田泰章
	内藤輝男				

副会長・八代義隆氏、常任理事・青木紀士夫氏は昨年逝去されました。ご冥福をお祈りします。

(平成12年8月～平成13年7月)